

町長日誌 No.194



町長日誌の第 194 号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

12月12日(木) AM 9:30

昨日 11 日で交通死亡事故ゼロ 4500 日を達成しました。関係の皆様、町民の皆様にご感謝申し上げます。しかし、今週に入ってあわやというスリップ事故などが発生しておりますので、より一層のご注意を宜しく申し上げます。今日は朝から暖かく良い天気ですが予報では午後 3 時頃から大荒れになるようです。雪が解けて無くなると思いきやかなり積もるようですから明日の朝はいよいよ除雪車が全線出勤となるかもしれません。

11月20日(水)

町民の方からお願いのお手紙が届きましたので紹介させていただきお答えしたいと思います。差出人不明ですが女性であることから A 子さんとさせていただきます。A 子さんはご主人を亡くされ北紋バスを利用されている方で、春日町のバス停を北見トヨペット(株)の近くに移動してほしいという要望でした。バスの運転手さんも気の毒がって「町に相談してみたら？」というアドバイスを頂いたことから今回のお手紙になったようです。実は同様の要望が平成 27 年にもありました。現在、春日町内のバス停は高校・中学校地点とかみでファーム・木工団地地点にあります。路線バスは法令で定められたバス停以外での乗降はできませんし、国道では必ずバス停レーンを拡幅して他の車の支障にならないようにしています。しかし、春日町のかみでファーム・コーンズエージ(株)から学校までは全面坂道で使用許可を出す警察としても許可できないという見解でした。道路の拡幅をしてバス停レーンを造成すればよいのかもしれませんが、これも坂道であることと事故も多い国道であることなどから北紋バス側も移設を断念した経緯がありました。従いまして、大変申し訳ない答えになってしまいますが、「現状ではバス

停の移設は出来ない」ということになりますので、ご理解をお願いします。今回の様に住民の居ないところにバス停があるなど時代と共にバス停の移動が必要になり、条件が整えば移動をしていますが、なかなか思うようにならないのが実際のところなのです。

12月4日(水) PM 6:30

紋別市民会館で開催された「遠紋地区地域医療構想調整会議」に出席しました。現在北海道は来年度から 4 年間の「外来医療計画」を策定中で、その審議をする会議でしたが先般国が示した国保病院などの再編整備の事にも触れず、医師の確保の将来の見通しもままならない中であっては、説明する紋別保健所の職員に質問して答えが得られる内容でもなく、約 1 時間で終了してしまいました。国が言うことは、医師の育成確保は都道府県の役割であることと医療費の削減です。全国津々浦々に人々が安心して暮らすためには医療のネットワーク作りは欠かすことの出来ない仕事です。興部の病院で早期発見し、2 次病院に送り手術を行い、一定の回復ののち興部の病院に戻り自宅への復帰を目指す。或いは癌などで回復が望めない患者は自宅近くの病院で終末期を過ごすなど一連のネットワークをつくらないと今の医療は成り立ちません。医師の過重労働も 2024 年までには解消しなければならず、患者の窓口負担も増えるでしょう。しかし、私たちの生活の中で安心して医療が受けられないということは憲法違反ともいえる行政の怠慢だと私は考えます。堀院長・松本先生にはそういう意味での医療をお願いしており、広域紋別病院や名寄市立総合病院とも信頼関係が築けていますので町民の皆様には安心して受診して頂きたいですし、このネットワークをこれからも維持することに町長として取り組んでまいりますので、安心して頂きたいと思います。

さて、この日誌が皆様のところへ届くころには新しい年をお迎えのことと思います。今年も大変にお世話になりました。来年も皆様のご指導とご協力をお願いします。毎年の事ではありますが、この日誌をもって年賀のご挨拶とさせていただきますのでご理解をお願いします。皆様良い年をお迎えください。では、また来年！

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131 です。

